

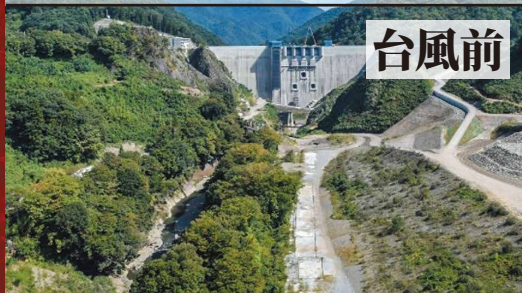
# 首都洪水 を防ぐ

ハツ場ダムは約70年の歴史を経て完成。  
試験湛水開始後、約11日後に  
既往最大の洪水が襲来。  
ほぼ全量をハツ場ダムが呑み込む。

令和元年10月17日撮影

## ハツ場ダムが早速、効果を発揮!

令和元年10月2日 貯水率0%



台風前

令和元年  
台風19号襲来



※貯水率0%：最低水位以下

吾妻川の洪水を  
ほぼ全量  
貯留しました。



ハツ場ダムの洪水調節容量は6,500万 $m^3$ です。令和元年の台風19号の際には、ハツ場ダムは試験湛水開始直後だったため、利水容量を含めた7,500万 $m^3$ の容量を使って洪水調節を行いました。

令和元年10月15日

貯水率100%



通過後

令和元年10月16日撮影



令和元年10月13日 その時江戸川では  
江戸川の水位が家屋より高い位置  
になっていました。

# 首都 渇水 から守る

利根川上流ダム群の利水容量

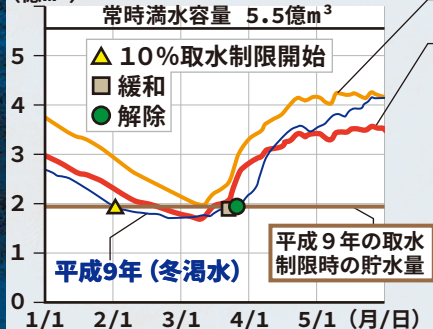


ハッ場ダムが無ければ...

令和5年の冬は渇水になっていた!?

利根川では、平成8年、9年の冬に最大10%の取水制限が行われました。冬渇水になると一般的にまとまった降雨が期待できないため、影響が長期間におよびます。(平成8年は76日間、平成9年は53日間)

(億m³) 利根川上流9ダム貯水量図



令和5年・実績ライン

令和5年・想定ライン

令和5年実績からハッ場ダム貯水量を減じたもの

ハッ場ダムがなければ、過去最大級の渇水であった平成9年の取水制限時の貯水量を下回り、その期間は約1ヶ月も続いたと推測されます。

平成9年冬渇水 相俣ダムの様子



生活に欠かせない水のためにダムを大切に運用しています

